

平成30年度の主な事業

子育て世代の安心づくり

キッズクラブ運営事業(2億4,658万円)

入室児童数の増加に伴う定員超過に対応するため、今渡南小学校キッズクラブの新築工事を行いました。



完成したキッズクラブの建物

まちの安全づくり

水道施設等耐震化事業(2億8,955万円) 水道事業会計

配水場などの耐震化工事を行い、災害が起きても安全に水を供給できるよう、災害に強いまちづくりを進めました。



耐震化工事をした水槽の中

高齢者の安気づくり

高齢者福祉施設整備等事業(1億8,065万円)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を行う事業者に、施設整備・開設準備に関する補助金を交付するなど、高齢者が安心して住み続けられるまちづくりを進めました。



補助金で整備したオペレーター(システム)と訪問用車両



まちの安全づくり・地域経済の元気づくり

可児駅東土地区画整理事業

(1億1,847万円) 可児駅東土地区画整理事業特別会計

誰もが安全・快適に利用できるよう、可児駅東駅前広場の北側ロータリーを整備しました。



可児市ふるさと広報大使 塚本 明里さん

地域経済の元気づくり

観光施設管理経費(2,147万円)

観光交流館をはじめとした観光施設の整備や維持管理を行いました。



観光交流館の館内

大河ドラマ活用推進事業(526万円)

可児市が生誕の地とされる明智光秀が主人公の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に、可児市の魅力を広く発信するため、可児市大河ドラマ「麒麟がくる」活用実行委員会に負担金を支出しました。

平成30年度決算

財政課

可児駅東駅前広場が供用開始

JR可児駅・名鉄新可児駅周辺は平成14年度から可児駅東土地区画整理事業として工事に着手し、令和元年10月1日に可児駅東駅前広場の供用が始まりました。今後はこの広場から続く可児駅前線が県道の可児金山線に接続し、皆さんがより安全に、快適に利用できるよう整備を進めていきます。

次頁からは駅前の整備を含む、平成30年度の決算をお知らせします。

主な可児駅周辺の整備

| | |
|--------|-----------------|
| 平成14年度 | 土地区画整理事業工事 着手 |
| 19年度 | 下恵土アンダーパス 開通 |
| 20年度 | 可児駅東・西自転車駐車場 完成 |
| 24年度 | 可児駅前大橋 開通 |
| 29年度 | 可児駅東西自由通路 供用開始 |
| 30年度 | 子育て健康プラザ・マーノ 開館 |
| 令和元年度 | 可児駅東駅前広場 供用開始 |



可児駅前大橋



可児駅東西自由通路